

膵・胆管合流異常と先天性胆道拡張症はともに先天性の形成異常である。先天性胆道拡張症のほとんどの症例で合流異常を合併するが、合流異常から見ると胆道拡張症を合併しない症例も多い。合流異常や胆道拡張症は胆道癌を合併しやすいため、適切に治療する必要がある。合流異常は小児期に診断されることも多いが、半数以上は成人になってから初めて診断される。合流異常は欧米人と比べ東洋人に多く、わが国では発生頻度は約1,000人に1人といわれている。したがって、わが国では胆膵疾患の診療に当たって、合流異常や先天性胆道拡張症の存在・合併している可能性に留意する必要がある。

日本の研究者を中心に、合流異常や先天性胆道拡張症について多くの知見が発表されている。疾患概念が明らかにされ、診療方針についても広い領域でコンセンサスが得られている。さらに「膵・胆管合流異常診断基準2013」、「先天性胆道拡張症診断基準2015」や「膵・胆管合流異常診療ガイドライン2012」が発表されている。しかし、胆道非拡張型合流異常の治療方針など解決すべき問題点もまだいくつか残されている。また、合流異常と類似した病態を呈する膵胆管高位合流の存在も明らかになっている。

本号の特集は、膵・胆管合流異常と先天性胆道拡張症の概念・診断・治療についての知識の整理に役立つ内容になったと考えている。

(杉山 政則)

臨牀 消化器内科® Vol. 35 No. 4

©2020年3月20日発行

定価(本体3,000円+税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791